

特別公開講座

東京大空襲を記録する

講師・早乙女勝元氏

一九三二年東京生まれ。貧困と戦争の中で小学校高等科を終えた後、働きながら独学で文学の道へ。著書一〇〇冊余。現在、東京新聞夕刊に「この道」連載中。近著に『アンネ・フランク』（新日本出版社）。
日本民主主義文学会会員。

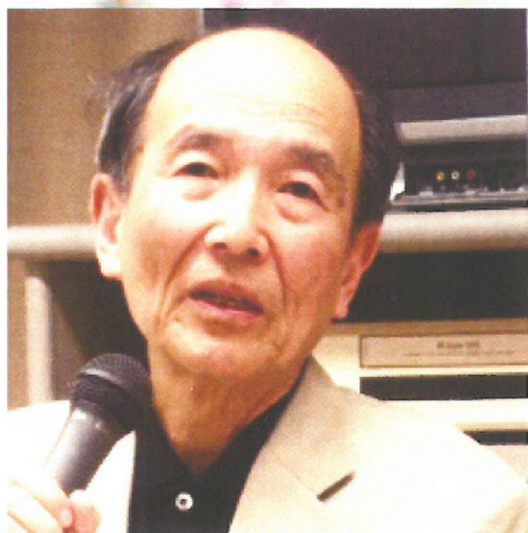
2017年

11月21日 火

午後2時～4時30分

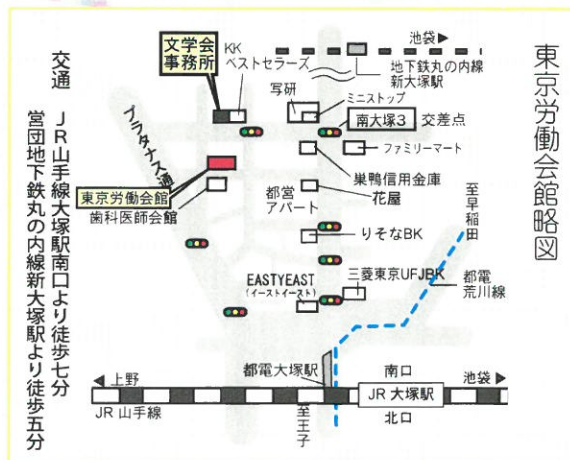
会場：東京労働会館地下

参加費：1,500円



講師の言葉

一九七〇年に「東京空襲を記録する会」を結成してから、都民の立場で戦災誌の編纂に取り組み、その動機は、また運動の経過をはじめ、どこにどんな問題点があったかを、体験から明らかにしたい。そして、その結果と、意義についても考えたいと思う。戦争体験が「歴史」に移行する時を迎えて、どのようにしたら次世代への継承が可能か。民立の戦災資料センター（江東区北砂）の館長の立場から、八十五歳の悩める心境を語りたい。



お問い合わせ、お申し込み先

民主文学創作研究会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-29-9 サンレックス202

電話 03-5940-6335

FAX 03-5940-6339

E-mail=info@minsyubungaku.org